



視察研修等報告書

令和 5年 8月16日

坂井市議会

議長 辻 人志 殿

会 派 名 政 友 会
報 告 者 三宅 小百合

1. 日 時 令和5年8月2日(水)～令和5年8月3日(木)
2. 視察研修先
 - (1)参議院議員会館(東京都千代田区永田町2丁目1-1)
 - (2)福井県アンテナショップ(東京都中央区銀座1-3-3)
 - (3)全国町村会館(東京都千代田区永田町1丁目11-35)
3. 視察研修内容
 - (1)家族法制の見直しに関する調査・研究
 - (2)シティプロモーションに関する調査
 - (3)北陸新幹線敦賀開業に向けた経済動向調査
4. 参加者 川畑孝治、三宅小百合(政新さかい辻人志議員と同行)
5. 内容詳細
 - (1)家族法制の見直しに関する調査・研究
法務省によるレクチャー
 - (2)シティプロモーションに関する調査
福井県アンテナショップの視察
 - (3)北陸新幹線敦賀開業に向けた経済動向調査
福井県東京事務所によるレクチャー

6. 所見・感想等

(1) 家族法制の見直しに関する調査

【川畑孝治】

法務省民事局の担当者からレクチャーを受けた。令和3年2月に「子の利益の確保等の観点から、離婚及びこれに関連する制度の関する規定を見直す必要がある」として法制審議会へ諮問がされて、令和4年11月までに計20回の会議が行われていた。

夫婦の都合により、離婚になるが、中間試案では、子どもを中心に考えられており、子を養育する責務・子の最善の利益・子が示した意見を考慮など、父母がいずれも子に対する責務を有することなどを明確化していた。今後最終的な取りまとめが行われるが、養育費関係、親子交流関係など色々な論点があるが、子どもを中心とした制度の見直しを期待したい。

【三宅小百合】

日本では父母の婚姻中は、原則として、父母が共同して子どもに対して親権を持つ「共同親権」制度が採用されているが、離婚すると父母のどちらかしか「親権者」になれず「単独親権」に変わる。離婚後、子どもに会えない悩みを抱えた方から「共同親権」を望む声が寄せられた。このことから法務省民事局のレクチャーを受けた。現在、中間試案とパブコメにより調査審議を準備しており、離婚後の「共同親権」について検討を進めてはいるが、「共同親権」導入には賛否両論あり、議論が続いている状況であると説明を受けた。

離婚後の支援として当事者のみでは親子交流（面会交流）の実施が難しい場合に、当事者間の連絡調整や、子の受渡し、見守りなど様々な支援を行っている民間の団体・個人があると説明を受けたが、後日調べたところ、福井県内に支援団体がない。

(2) シティプロモーションに関する調査・福井県アンテナショップ

【川畑孝治】

東京銀座にある、県のアンテナショップが今年2月24日にリニューアルオープンした。来年3月の北陸新幹線敦賀延伸に向けて大いに期待していた、店内には県内各地の品々2,000点が販売されているとのことであった、また、地下には県内の打ち刃物やメガネなどの工芸品が展示販売され、おろしそばやソースかつ丼が食べられるスペースも有った、しかしながら知名度の低い福井県の位置を示す地図や、来年3月に新幹線が延伸開業される事を表示するものは何もなく、観光案内のスペースも狭いように感じた。店舗の設計者の意向があるとの事だが、アンテナショップとしての役割には疑問を感じた。

【三宅小百合】

銀座1丁目に移転オープンした県のアンテナショップは立地も良く、外国人に人気があるITOYAの向にある。洗練されたデザインで店内には福井県内の商品が美しく並んでおり、買いやすい配置になっていた。店舗の奥には観光案内や移住案内のコーナーがあり、テーブルとイスが用意され、情報提供や相談ができるようになっている。

また地下には福井名物の越前蕎麦やソースカツ丼や海鮮丼を食べることができるレストランがあり、階段を下りた左手には福井県産の眼鏡や工芸品が展示販売されていた。銀座のアンテナショップに行けば、福井の美味しいものや工芸品が一堂に集まっております、福井県を広く知っていただける工夫がされていた。

(3) 北陸新幹線敦賀開業に向けた経済動向調査「東京から見た福井について」

【川畑孝治】

都道府県会館会議室において、県東京事務所の職員と福井放送東京事務所次長の鈴木千代志氏から、意見を聞いた。県東京事務所では、知事や市町の要望活動をサポート、観光面など福井県の知名度アップや広報宣伝を行っている。説明で、東京だけではなく埼玉県など新幹線沿線の関東地区長野県に対して広報宣伝をしており、関東や海の無い県から見た日本海はポテンシャルが高いと聞いた。福井放送の鈴木氏からは、系列のテレビ局に対して福井を紹介する旅番組などの取り組みをしているとの事であった。また、福井というキーワードでは、今はイルカの話が1番との事、次いで、ジャニーズのタレントが越前ガニの極みを食べてPRした事からカニは越前ガニのイメージが有るとの事で、次いで恐竜も根強い人気があるとの事だった。まだまだ福井は知られていないように感じているので、今後県が行う観光PR活動に期待するとともに、市内観光地の磨き上げ、2次交通に取り組む必要性を強く感じた。

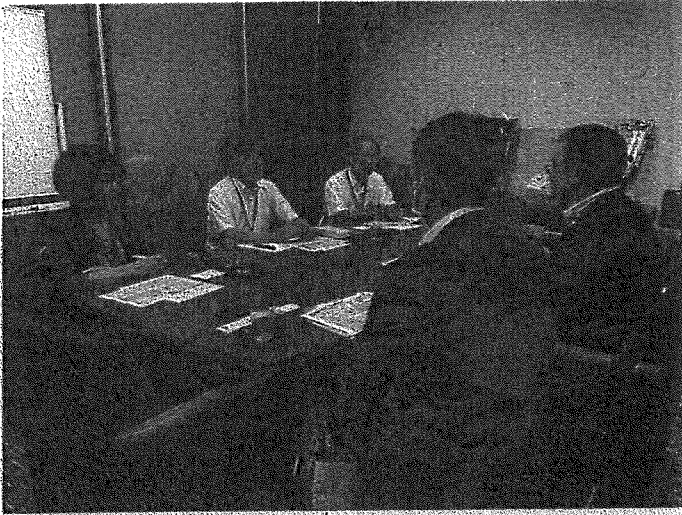
【三宅小百合】

初めて福井県事務所を訪問しました。新幹線敦賀開業に向けて福井県の知名度アップやプロモーションを行っており、特に海がない県からみた日本海の夕陽の魅力に注目したプロモーションや、新しい視点でのプロモーションに刺激を受けました。また福井在住者からみた福井への旅の提案ではなく、関東在住者の視点からみた福井県への旅行、東北新幹線からの福井県への旅行を考えた視点が東京事務所ならではの感じました。

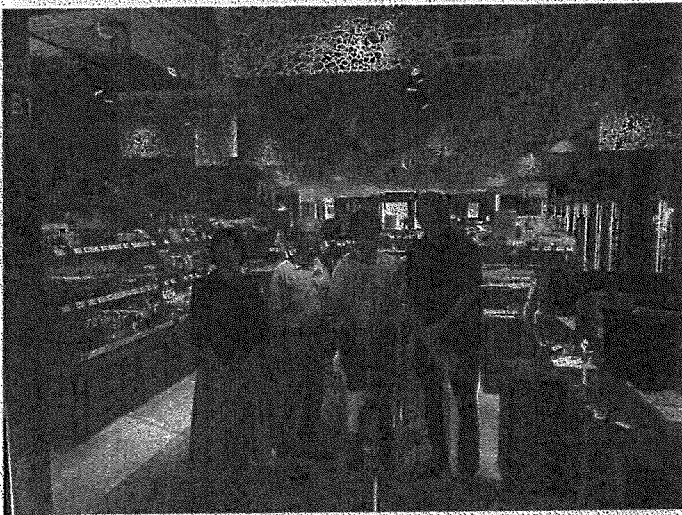
同席していただいた福井放送の方から、野生のイルカ被害を報道すると大きな反響があると聞いた。観光に関わる方から、海外から専門家を招き、野生のイルカをトレーニングしてもらい、人間とイルカと一緒に泳げる海水浴場にできないかとの提案があった。ピンチをチャンスに変える発想の転換も必要であると感じた。

7. 添付資料 写真

会 派 内 供 覧		



家族法制の見直しに関する調査・研究
法務省によるレクチャー



シティプロモーションに関する調査
福井県アンテナショップ



北陸新幹線敦賀開業に向けた経済動向調査
福井県東京事務所によるレクチャー